

研究講習事業報告

学発番号： 学21-014★(日臨技推進事業)
事業名： 血液検査研究班 症例検討会
日時： 令和3年9月18日(土) 14:00～16:30
場所： キャンパスプラザ京都(ハイブリッド形式)
主題1： Case study 27
講師1： 金丸 青空 技師(国立病院機構京都医療センター)
主題2： Case study 28
講師2： 松本 和道 技師(京都府立医科大学附属病院)
主題3： 骨髄標本の見方・所見の書き方
講師3： 今田 昌秀 先生(川崎医科大学附属病院)
参加数： 総数:88名(京臨技会員:31名)
報告者： 田辺 祐也(京都第二赤十字病院)

以下、講演内容など

今回はWEBにて症例検討2例と講演1題を行いました。症例検討では京都医療センターの金丸青空技師より骨髄癌腫症、京都府立医科大学附属病院の松本和道技師よりWHO分類第4版2017年改訂版に暫定疾患として新たに記載された、早期T前駆細胞性リンパ芽球性白血病(ETP-ALL)がそれぞれ出題されました。今後も継続し、多くの方と活発な議論を行いたいと考えます。川崎医科大学附属病院の今田昌秀先生には、「骨髄標本の見方・所見の書き方」として骨髄像の観察方法、細胞分類、異形成像の評価、単球系細胞の分類、巨核球の観察方法など骨髄像の報告書を作成する上で必要なことを幅広く、分かり易く解説いただきました。大変勉強となる有意義な会でした。